

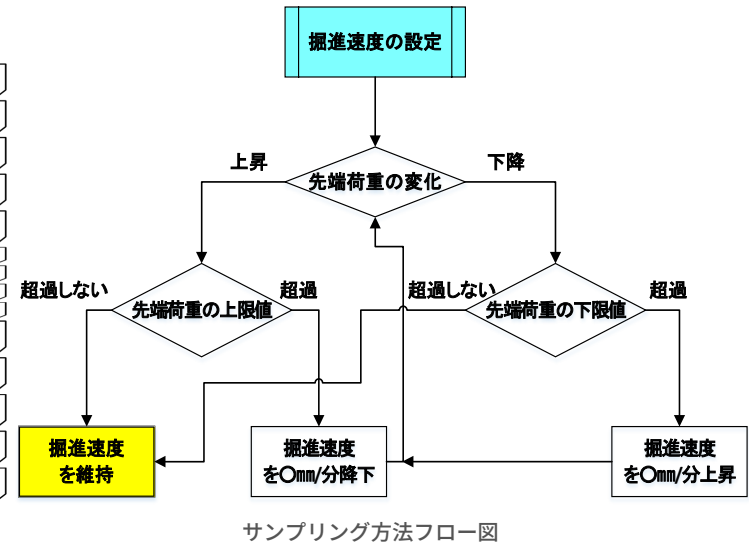
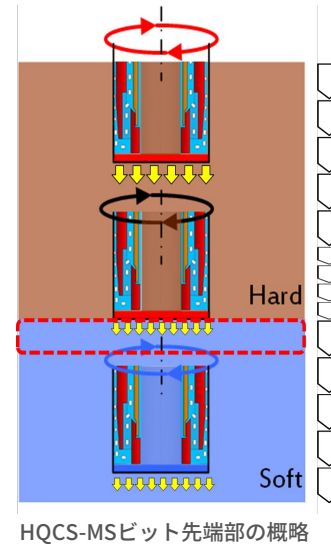
発明の名称 (正式名称)

[地盤試料のサンプリングシステムおよびサンプリング方法 \(特許第6666278号\)](#)

技術概要
(従来技術との差異や特徴)

ボーリングコア採取の原理は、ビットの先端に荷重と送水を加え、ロッドに回転を与えることで、岩盤を円柱状コアを削孔・採取します。硬質な岩盤では、掘進速度低下し、かつ先端荷重上昇し、軟質な岩盤では掘進速度上昇し、かつ先端荷重低下させます。高品質ボーリングでは、低送水かつ低先端荷重を維持することで、コアの乱れを防止します (LWLP工法)。

OYO HQCS-MS では、**ビットの先端荷重に上限値および下限値を設定し、自動的に上記先端荷重がこれら上下限值内になるように加圧手段を制御し、掘進速度の安定化や先端荷重の安定化をはかることができ、高品質コアを高確率で採取することができます。**機械油圧の自動制御による掘進速度の維持は、先端荷重の過剰な上昇の抑制するLWLP工法の自動制御を具現化したものです。



商品の具体例

地質リスクを伴う地質解析のための調査、地すべり等の斜面変形斜面踏査の機構解析のための調査

関連商標

[登録番号5968206号](#)

参考資料

参考文献：NETIS 登録番号：T-180116-A

全地連「技術フォーラム2015」名古屋

論文名：[No.2015 114 \[コア採取・コア観察\] コアボーリング技術の見える化によるサンプリング技術の向上](#)

お問い合わせ先

応用地質株式会社 メンテナンス事業部

※ 応用地質Webサイトの「[お問い合わせ](#)」から「特許に関するお問い合わせ」を選び、お問い合わせください。